

JEITA技術戦略シンポジウム2013

—IT・エレクトロニクス業界による国家成長戦略の実践—

- 主催：一般社団法人電子情報技術産業協会 技術戦略委員会
- 担当部署：(社)電子情報技術産業協会 知的基盤部 技術戦略グループ
- 参加者数：149名

概要

JEITA技術戦略委員会(委員長：島田啓一郎氏・ソニー(株)業務執行役員SVP)では、政府が成長戦略の一つとして6月に閣議決定した「科学技術イノベーション総合戦略」をIT・エレクトロニクス業界としてどう解釈し、活かし、実践するのか、それによりどのような未来に繋がるのか、さらには電子情報技術分野での具体的な施策はどうあるべきか、等について議論を重ねてきました。

11月には、政府に期待したい具体的な技術政策を3つの視点〔①規制改革・制度整備、②研究開発支援・投資援助、③特区・実証実験の場作りと実証後の普及促進〕で取り纏め、「国家成長戦略を具現化するための技術政策提言」として発行し、今回のシンポジウムで配布されました。

今回のシンポジウムでは、島田委員長から提言書の紹介がなされ、第1部(基調講演)で「科学技術イノベーション総合戦略」の要諦を内閣府／総合科学技術会議議員である久間和生氏からご講演頂き、第2部で産業界(東芝、日本電気、ソニー)のR&D戦略と今後の取り組みについてそれぞれの研究開発部門の責任者から紹介されました。第3部では、東京大学／荒川泰彦教授のモデレータによ

り、「成長戦略のためのイノベーションと新たなビジネスモデルの創出に向けて」と題して、パネルディスカッションが行われました。

新産業・新事業創出のためにはビジネスモデルクリエーションが必須であるとの見解から、新たなビジネスモデルの考え方や方向性などについて会場からの質疑を交えながらの意見交換が行われ、大変有意義なディスカッションとなりました。来場者の皆様においては、ここでしか得られない情報を基に、ビジネス戦略におけるヒントをそれぞれ持ち帰ったことと思います。

「技術戦略委員会」及び傘下の「技術政策委員会」では、今後も引き続き、我が国の科学技術政策の在り方や今後取り組んでいくべき技術開発課題などについて議論を重ね、政策・提言を行っていくと共に、我が国の産業競争力強化に貢献していくこととしています。

関連機関・異業種産業界等、様々な連携も重要とってきていることから、是非、当該委員会の活動に参画頂ければありがたく存じます。(当該委員会活動に関心の向きは、JEITAまでご連絡下さい。)

プログラム

司会 進藤 典男 氏〔技術政策委員会副委員長／ソニー(株)渉外部門 プロジェクト推進部 部長 (技術渉外担当)〕

開会の挨拶

島田 啓一郎 氏 ((社)電子情報技術産業協会 技術戦略委員会 委員長)

【第1部】 基調講演：科学技術イノベーション戦略と産業界への期待

久間 和生 氏 (内閣府 総合科学技術会議議員 (元 三菱電機(株) 代表執行役副社長))

【第2部】 講演：政府の成長戦略の具現化に向けての産業界のR&D戦略

(1) エネルギー、ストレージ、ヘルスケアを柱としたスマートコミュニティの実現に向けて

須藤 亮 氏 (株)東芝 取締役代表執行役副社長)

(2) ITによる社会価値創造への挑戦

江村 克己 氏 (日本電気(株) 執行役員)

(3) 映像の高度化と顧客価値の創造

島田 啓一郎 氏 (ソニー(株) 業務執行役員SVP中長期技術・技術渉外担当)

【第3部】 パネルディスカッション：成長戦略のためのイノベーションと新たなビジネスモデルの創出に向けて

モデレータ 荒川 泰彦 氏 (東京大学 生産技術研究所教授 (技術政策委員会委員長))

パネリスト 久間 和生 氏 (内閣府 総合科学技術会議議員)

須藤 亮 氏 (株)東芝 取締役代表執行役副社長)

江村 克己 氏 (日本電気(株) 執行役員)

島田 啓一郎 氏 (ソニー(株) 業務執行役員SVP中長期技術・技術渉外担当)

